

電子申請システムを活用した 食中毒調査手法の検討

静岡市保健所 食品衛生課

○浅沼貴文、本多恵美子、白鳥高志、高橋直人
島村好彦、永井幹美、山本秀樹

■ 食中毒調査の現状

聞き取り調査に時間がかかる

(慣れた職員でも1人あたり15分～20分) × 調査対象者数

主な要因

調査対象者が多い



連絡が取れない



項目が多い



「保健所－調査対象者」双方に**負担**が大きい

目的

■ 電子申請 | オンラインによる行政手続き



LoGoフォーム※

※静岡市が導入する電子申請システム
(株)トラストバンク社

食中毒調査に
活用

食中毒調査にご協力をお願いします。

Q 1. お名前を入力してください。

氏 _____ 名 _____

Q 2. 喫食日時を教えてください。

日 _____ 時間 _____

選択肢に
チェック

Q 3. 体調不良の有無を教えてください。

発症あり 発症なし

Q 4. 下痢はありましたか。

はい いいえ

Q 5. どのような下痢でしたか？

軟便 水様性 粘液 血便

入力フォームのイメージ

聞き取り調査の負担を**軽減**できるのでは？

方法①

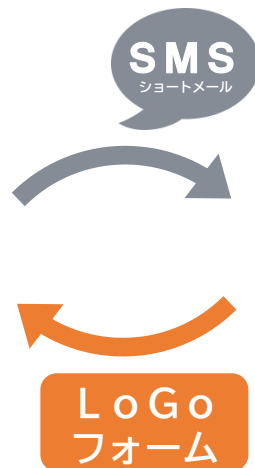
■ 電子申請方式による食中毒調査

導入のイメージ



利 点 ▼

- 調査時間の削減
- データ入力不要



利 点 ▼

“いつでも、どこからでも、
容易に、安全に”


※総務省資料: 電子申請の特徴

方法②

■ 入力フォームの検討



調査項目	検討	適否
・ 発症状況調査	症状、発症日時、受診状況 定型的 で導入しやすい	◎
・ 喫食状況調査	メニュー別の喫食状況 事前にメニューが判明していれば導入可	○
・ 遡り喫食行動調査	発症前1週間の喫食行動等 思い出す時間が必要→フォームに含めない	△
・ 感染症に関する調査	感染症を疑うエピソード 定型的 で導入しやすい	◎

 テンプレートを事案ごとにアレンジして使用

方法③：実際の食中毒調査で導入

■ 令和4年10月に探知した有症事例

探 知

令和4年10月18日

16時00分



息子たちが鳥刺し
を食べて...

母親からの通報

調査対象者

10月9日、居酒屋を利用

4人とも、腹痛、下痢、発熱等



患者A
(通報者の息子)



患者B



患者C



患者D

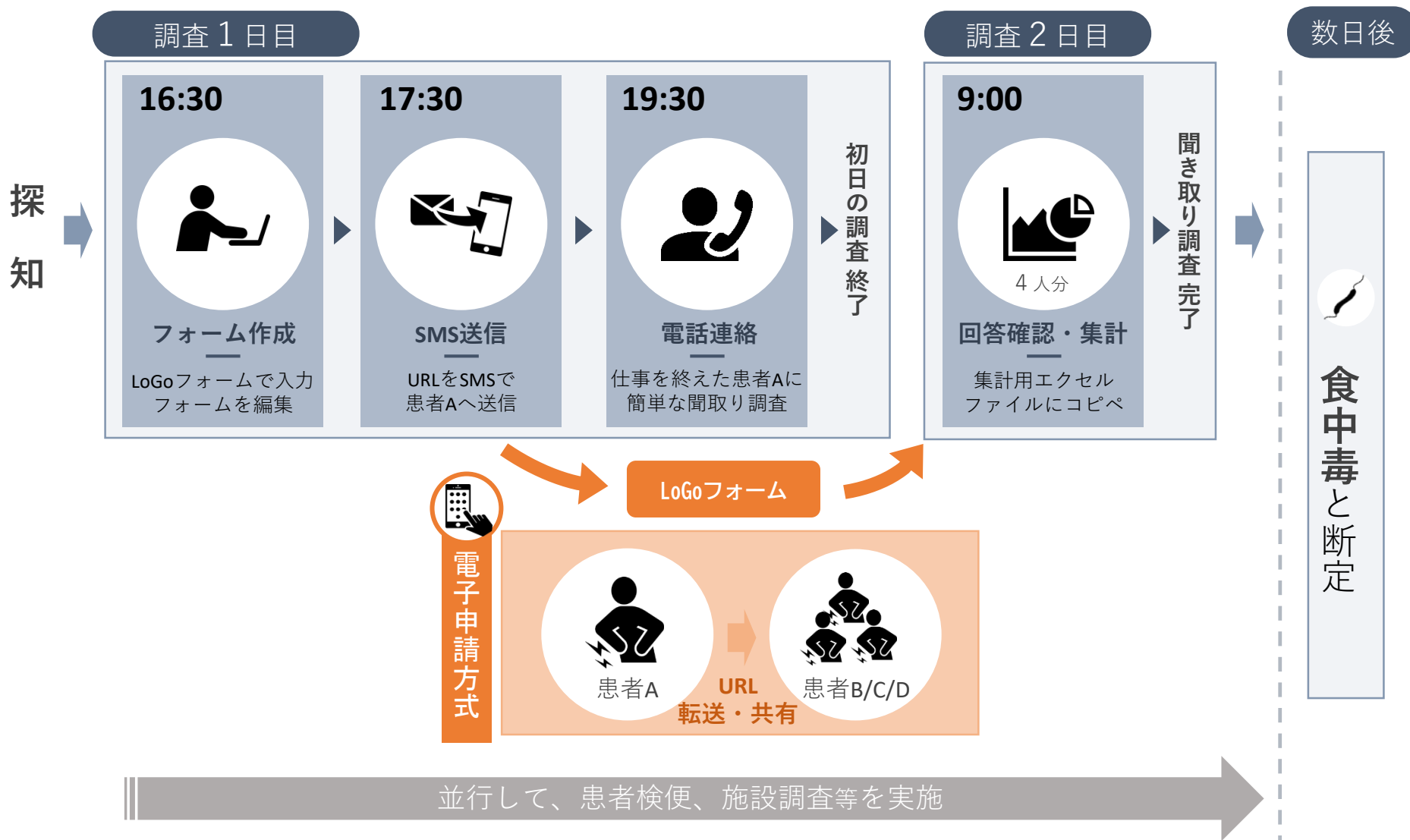
探知時点の状況

- 患者A ⇒ 仕事のため、**19時30分**まで連絡が取れない。
- 患者B～D ⇒ 調査協力の可否や**連絡先は不明**。

電子申請方式を導入して、調査に着手

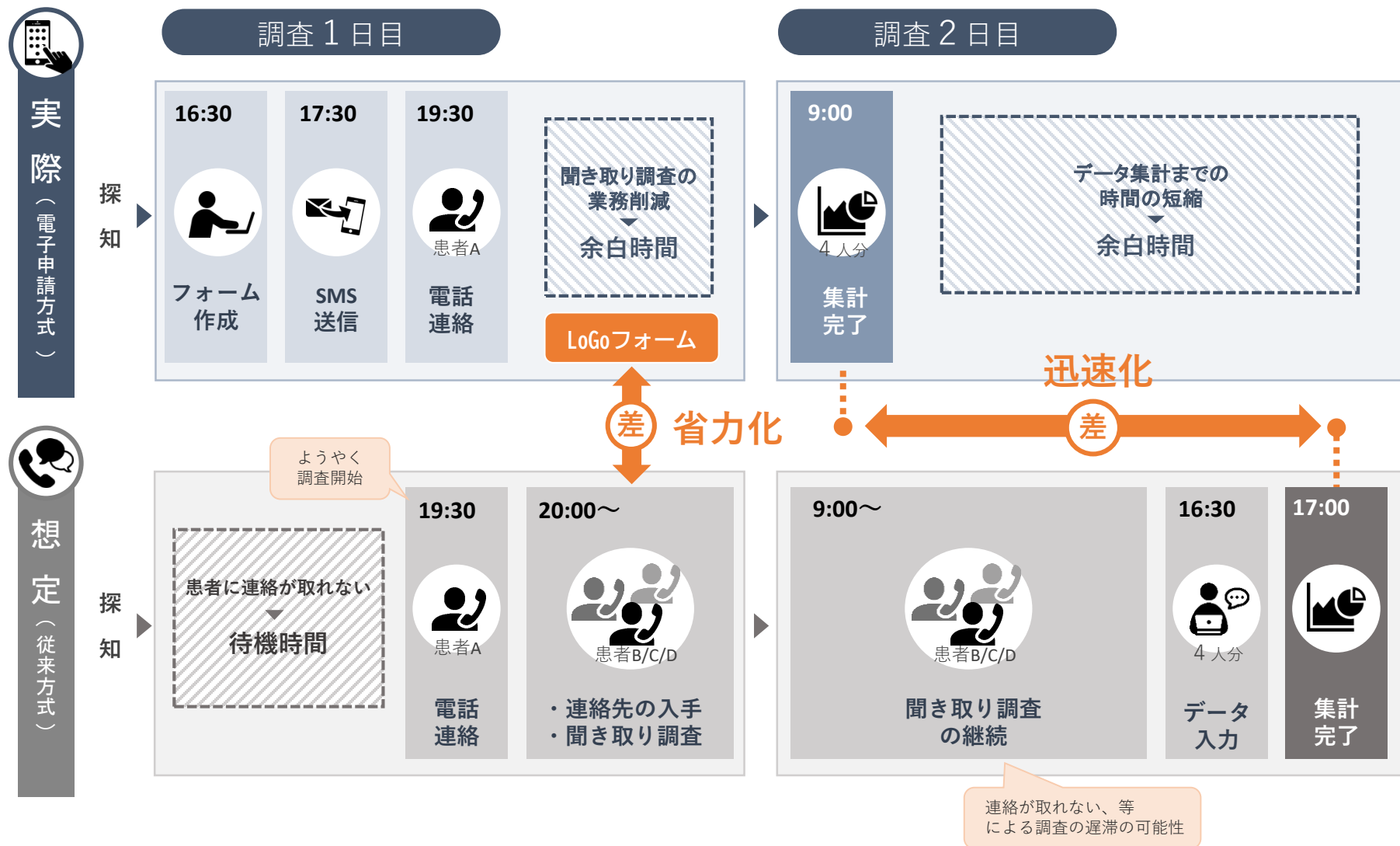
結果①：電子申請方式による聞き取り調査

■ 実際の調査の進捗



結果②：聞き取り調査について

■従来方式との比較



結果③：まとめ

■ 電子申請方式で得られた効果

期待した効果

保健所



余白時間の創出

- 調査時間の削減
- データ入力不要

迅速化
省力化

調査対象者



4人にアンケート

- 所要時間は5～15分
- スムーズに回答できた

対象者の
負担軽減

双方の負担軽減

プラスαの効果



患者間の繋がり
URLを共有

連絡先
入手不要



喫食メニューの
写真や席次表の
添付機能

画像ファイル
入手可能



重要項目の
入力必須設定

聞き洩らし
防止

電子申請 特有の利点

考察①

■ 電子申請方式の可能性

県内でも発生!!

保健所が懸念していること

大規模食中毒の発生

調査対象者1,000人
を越える事件数
(R1~R3年 全国)

5~6件/年



■ 疑問点

Q1 調査は正確に出来たか？

A 4人に改めて確認したところ、訂正なし

▶ 正確に情報が得られていた。

Q2 スマホを使えない人は？

A 従来方式と電子申請方式は、併用可

▶ 対象者に合わせて、柔軟に使い分ける。

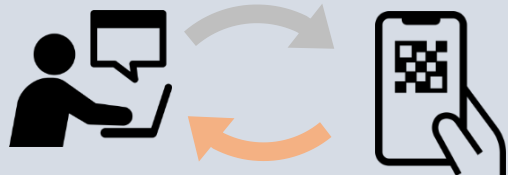
Q3 市外在住の人の調査[※]は？

A 今回は、管轄自治体と情報共有し、支障は生じなかった。

▶ 自治体間で協議を進める。

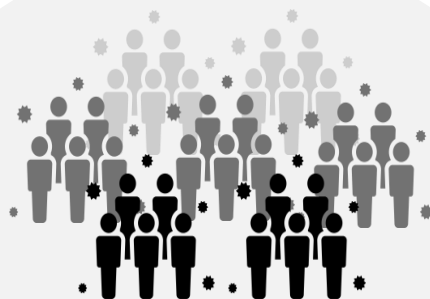
※ 入力フォームへの回答は、管轄の自治体ではなく、当市が直接受け取ることになる。

■ まとめ



迅速・省力

実務的なメリット



大規模事案への
適用

今後の可能性



「いつでも、どこからでも
容易に、安全に」

対象者の負担軽減



定型的な調査の負担を軽減する必要性は高く、
電子申請方式を活用する意義は大きい。



(試行用URL)

食中毒調査用LoGoフォーム

ご興味ある方は、試してみてください。回答内容は公開されません。
公開期間：令和5年1月～3月頃